



都島小学校



所在地	〒534-0021 都島区都島本通3-10-3		
電話	06-6921-1434	FAX	06-6925-3957
HP	http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e521034 ※「大阪市立都島小学校」で検索してください。		
校長名	北浦 正美	その他	標準服有り



本校の教育目標は、「人間性豊かで、たくましい子どもを育てる」です。
「人間性豊か」とは、美しいものやすぐれたものに出会い、情感豊かにものごとを受け止め、他者に温かい思いやりをもつことと考えます。

自分が身につけた知識や技能をいかすことはもちろん、考えたことを大切に、仲間と共に知恵を出し合い、協力して主体的に集団で学び合う力を育てます。

「たくましい」とは、心身ともに健康であることであり、努力を惜しまないで、自分の力を発揮しようとする考えです。集団の中で誰とでも心を通わせ、強い意志をもって困難を乗り越え、最後までやり遂げることを大切にします。仲間と共に向上心にあふれる気持ちを持ち、可能性を見出して、その実現のために意欲的に取り組むことを大切にします。

「全ての子ども幸せのために」を合言葉に全教職員力を合わせてまいります。

校長 北浦 正美

● 「運営に関する計画」の概要

【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を90%以上にします。
- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を88%以上にします。
- ・小学校学力経年調査における「自分には良いところがありますか」に対して、肯定的に答える児童の割合を87%以上にします。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を50%以上にします。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と答える児童の割合を70%以上にします。
- ・小学校学力経年調査における、「毎日、同じくらいの時刻にねて、同じくらいの時刻に起きていますか」に対して肯定的に回答する割合を83%以上にします。

● 学力の状況と学力向上に向けた取組

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果

○平均正答率(%)

国語	算数
66	63

○結果の概要

全国の平均正答率と比べ、国語科において1.7ポイント、算数科において-0.4ポイントとなった。また、平均無回答率は国語科・算数科共に全国を下回る結果となった。

「将来の夢や目標を持っていますか」の項目において肯定的に回答する児童が全国平均を大きく上回った一方、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目においては肯定的に回答する児童が全国平均を下回った。

取組の成果と課題、アクションプラン

引き続き、積極的にデジタルドリルを授業やそれ以外の時間、宿題等で使用し、基礎・基本を中心とした学力の定着を図っていく。一人一枚のミニホワイトボードを使い、思考の可視化を行っていくことで、対話を大切に、協働的な学びができるようにしていく。そして、現代的な諸問題に対応できる資質・能力の育成につなげていく。学力の2極化を解消し、全体的なボトムアップを図るとともに自ら学ぶ主体性をもった子どもの育成に取り組

んでいく。

様々な体験活動や人との出会い等を通して、一人一人の個性を大切にし違いを理解しようとする心を育てていき、人権教育を基盤とした、社会有用性を高めていくような取り組みを進めていく。

● 体力の状況と体力向上に向けた取組

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果

○種目別平均値

	握力	上 体 起 こ し	長 座 体 前 屈	反 復 横 と び	20m シャトルラン	50m走	立 幅 と び	ソフトボール 投げ	体 力 合 計 点
男子	16.36	16.56	30.91	34.52	43.53	9.58	147.97	17.39	48.29
女子	18.39	15.77	36.87	35.30	35.17	9.59	139.22	12.43	52.68

○結果の概要

「体力合計点」で男子で大阪市平均より低く、女子で大阪市平均程度という結果となった。「握力」については男女ともに大阪市平均及び全国平均を上回っている。一方、「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「ソフトボール投げ」については男女とも全国平均および大阪市平均より低くなる結果となった。児童質問紙の項目「運動やスポーツをすることは好きですか」において、肯定的に回答する児童の割合は男子は大阪市平均を上回ったが、女子については最も肯定的に回答する割合が大阪市平均と比べても極めて低い値となった。「1週間の総運動時間」について60分未満の児童の割合は全体で19.6%となっており全国及び大阪市平均より多くなっている。

取組の成果と課題、アクションプラン

年間計画に位置付けている「新体力テスト」「運動会」「なわとびタイム」「なわとび週間」「かけあしタイム」「かけあし大会」についてすべて開催することができた。学級担任が学級遊び等でドッジボールや鬼ごっこ、遊具運動などを一緒にしており、体力づくりの基礎となる運動の機会が学校生活の中に習慣づいてきている。また、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果に基づき、苦手分野を克服し、長所を伸ばすよう、体育の授業や遊びの中身の充実にも努めたり、区の体力向上事業を活用し、児童の運動能力の向上を図っている。次年度は、児童一人一人が主体的に活動できるよう体育科の授業改善をはかっていく。また本校では、キックベースボール、ドッジボール、ソフトボール等の地域のスポーツ活動も、熱心に練習しており、年間を通して大会も開催されている。参加者の減少等、課題はあるが、連携を取りながらサポートし、運動に親しむ機会を増やせるよう働きかけていきたい。

● 休日行事等の内容

※状況により日程変更や中止する場合があります

- 6月15日(日) 学習参観・引き渡し訓練・通信テスト
- 10月26日(日) 運動会

【学力と体力の状況調査については16ページに全国・大阪市平均を掲載。ご参照ください。】

◆たてわり班を活かした児童会活動

1年生から6年生まで、すべての学年の児童8～9名のたてわり班を編成して、隔週月曜日に児童集会のゲームを楽しんだり、「みやこじまつり」「6年生を送る会」などの行事で活動したりしています。異年齢集団の活動を積み重ねることで、高学年はリーダーとしての自覚や責任、優しさが育ち、低学年の子どもたちは、協力することの大切さを経験して、年上の子どもたちの頼もしさ、優しさを知ること、自分が高学年になったときに、こんなふうがんばろうという気持ちが育ちます。学校の中期目標の「安全・安心な教育の推進」にもかわり、どの子ども仲間同士が協力することの大切さを意識して取り組んでいます。



◆いのちと平和について考える週間

人権教育の学習として、『いのちの大切さ、平和の尊さ』を考える週間を設けています。戦争についての映像を見たり、ゲストティーチャーを学校へ招き話を聞いたりして、平和の大切さを学んでいます。一人一人の命の重さについて学習することは、日々の生活で、自分と仲間、家族の命を大切にできる態度にもつながることと考えています。6年生になると、広島への修学旅行を通して、平和学習をさらに深め、『平和』について考えていきます。

◆自然にふれる様々な体験

総合的な学習、生活科、理科の学習として、校内の自然環境にふれる体験の場を設定しています。校内でびわ・あんず・柿・きんかん・ゆずなどを育て児童が四季を感じられるように工夫しています。大川での水辺の学習、校内の田んぼで田植え・稲刈りなどの米作りの体験をしています。また、生涯学習ルームでは、地域の方の主催で「都島こどもエコクラブ」も活動しています。校内の自然環境の整備・充実に協力していただいています。自然にふれる体験的な活動の機会が多いほど、自立的な生活に必要な事柄を学習できると考えています。



◆読み聞かせ・本や新聞を読む活動・思考の可視化

本校では、地域の学校図書ボランティア「もこもこ」さんが活動されています。図書の整理、水曜日の朝の読み聞かせ、昼の図書館開放、絵の本広場の活動など、学校図書館の整備、充実に協力していただいています。子どもたちは、水曜日の読み聞かせを楽しみにしています。また本を読む「読書タイム」や新聞にふれる機会などを学年に応じて設定し、すべての学力に結びつく読書について重点的に取り組んでいます。また、ホワイトボードディスカッションの手法を活用して、他者との協働や自らの考えを広げ深めていく活動をしています。

◆全校児童によるかけあし大会

毎年、2月のかけあし大会では学校の近くの大川河川敷を走ります。全学年の児童がたくさんの方の友だちや保護者の応援の中で、大川沿いを走ります。体力づくりだけでなく、参加した子どもたちは、全員やりとげた喜びを味わい、スポーツの楽しさを体験しています。

